



「 ひがしひろしま 農業GUIDE 2022 」

Higashihiroshima
Agricultural
guide book
2022



農業はひとりじゃない

やりたかった農業を職業にしたいと思った時、何から手をつけていいかわからなかった。

何を、どこで育てれば良いのか、そんな場所はあるのか、どこで売するのか、物流はどうすればいいのか。考えなくてはいけないことが山積みだった。

そんな時、私の背中を押してくれるたくさんの応援団の存在を知ることができました。すごく心強かったことを覚えています。もちろん、農業は自然相手なので、強く自分を持っていないと出来ないことは分かっている。

でも、ひとりじゃないと気づけた時、就農への道が開けていく。そんな道標に…。

INDEX

P.2

就農するなら東広島

東広島の重点振興品目

P.3

豊栄町のつるやファーム(株)

天野聡志さんインタビュー

P.4・5

就農を目指すあなたの応援団!

東広島で自分の描く就農イメージを最短! 確実! にしていこう

P.6

農地相談チェックリスト

現地で就農候補地をチェックしましょう

P.7

園芸センター講座紹介

野菜生産講座、花き生産講座、果樹生産講座ほか

P.8

園芸センターを活用しよう

新規就農者育成研修生募集



就農するなら東広島



東広島市には、農業や暮らしにいいもの、いいことがたくさん。
そんな東広島市の魅力をちょっと紹介。

東広島市は、北部に緑豊かな中国山地が連なり、南部に陽光輝く瀬戸内海、県内最大の面積をもつ西条盆地、中部から南西部にかけては比較的平地に恵まれ、稲作を基幹としています。

がら、園芸や畜産などの地域特性を活かした多彩な農業が展開されています。

東広島市は、園芸振興の既存生産者の生産規模の確認及び具体的経営指標の作成、園芸施設の拡大に係るコスト対策と計画生産拡大を目指すため、「園芸振興班会議※」を毎月開催して、農業者の育成及び現地巡回を行っています。

令和3年度から、東広島市の重点振興品目である「白ねぎ」、「なす」、「ほうれんそう」の産地化を目指して、いろいろな取り組みが行なっています。

※園芸振興班会議
東広島市の「第3次東広島市農業振興基本計画」を実行するにあたり、関係する機関・団体と連携し、社会的にも経済的にも農業・農村の持続的な発展を実現するために、東広島市農業振興戦略会議を設置。この中、分野別に効果的・効率的な施策を実施するために、園芸振興班を設置して、東広島市、広島県西部農林水産事務所東広島農林事業所、広島県西部農業技術指導所JA広島中央で構成。



推奨「夏秋なす」と「秋冬白ねぎ」

令和4年度は、新規就農者や担い手の育成のため、なすと白ねぎの生産と販売に力を入れています。令和3年度に「夏に出荷するなすと、秋から冬に出荷する白ねぎを組み合わせた就農プラン」を策定し、年間を通じた出荷で所得300万円以上の生産者を育成するための人材募集及び育成を強化しています。



なすと白ねぎ栽培塾

作物例2

「夏のトルコギキョウ」と「冬のストック」

トルコギキョウは花持ちが良く、冠婚葬祭を中心に人気が高く、夏の暑さにも強いのが特徴です。

東広島市は、県内でも有数のトルコギキョウの産地であり、県内だけでなく関東方面にも流通しています。

園芸センターの花き講座で、トルコギキョウ等の栽培講習を実施しており、毎年、生産者の育成を行っています。

この講座参加者が、2004年にグループを結成するなど、現在約40戸の生産者が約1畧で25万本を栽培しています。トルコギキョウの消費拡大を目指して、ブランド化を図ろうとPR活動や新品種栽培にも力を入れています。



トルコギキョウの栽培

作物例1

「夏秋ミニトマト」と「冬のほうれんそう」

ハウスを利用してトマトを栽培すると、露地栽培では出荷できない早期又は晩期の生産・出荷が可能となり、収益を得られる時期を長期間確保することができます。また、生育管理のコントロールがしやすくなり、収量と品質が向上します。

ほうれんそうは、鮮度が重視されるため県内市場で有利に販売されており、軟弱野菜の中で最も消費量が多く、また、播種から収穫までの期間が短く、少ない面積で、年に4回くらい収穫できます。



トマトのハウス栽培



つるやファーム株式会社 天野 聡志 代表

「ひがしひろしま 農業GUIDE 2022」 INTERVIEW

Higashihiroshima
Agricultural
guide book
2022

つるやファーム株式会社

東広島市豊栄町清武4283番地

就農4年目 若人が集まる農園を目指して

新規就農者に聞く！

就農して4年目。広島市内から東広島市豊栄町で農業を営んでいる「つるやファーム」の天野聡志代表に就農地をこの場所を選んだポイントや農業のやりがいについて聞いてみました。

「さまざまな仕事がある中で、なぜ農業を始めようと思ったのですか？」

就農する前は、仲間たちと一緒に「つるや木賃宿」というゲストハウスを広島市で運営していました。そこで多くの経験や人との出会いの中で、農という自然相手のライフスタイルに興味を持ち、皆と一緒に農の事業をしようという方向になりました。

「農地を豊栄町に決めたきっかけを教えてください。また農地の確保に至った経緯も教えてください。」

一緒に農業の仕事をしていた仲間の母親が豊栄町の出身だったことです。農地は、仲間の母親の知り合いに地主さんがいて、その方が土地を貸してくれることになりました。農地を実際に借りる時は、東広島市役所に行きました。

「豊栄町で農業をしようと思ったことは、どのようなことですか。」

まず1つは、人が温か



無農薬で作る露地栽培の畑

いところですね。地域の方が親切で、農地は比較的借りやすいので、農業がやりやすい環境でした。あとは、標高が500mと高いところにあるので、寒暖差があり、夏は朝晩涼しく過ごしやすく、質の良い野菜が採れるのは嬉しいですね。

「つるやファームで育てている野菜にはどのようなものがありますか。」

ハウス栽培では、ほうれんそう、ミニトマト、大玉トマト。露地栽培ではジャンボピーマンのちくき、スイートコーン、さつまいも、枝豆など、色々育てています。

「それだけの野菜を育てるのには苦労も多いと思うのですが。」

作業は二人でやっているのですが、丹精込めて育てた作物が収穫できなかったときが



収穫したちくき（JA広島中央でかピー）

番つらいですね。反面、収穫できた時の喜びや達成感には代えられないので、やめられないですね。

「農業の魅力は何だと思えますか。」

自分で育てた野菜が世に出てお客様にたくさん食べていただく、喜んでもらえることです。あとは、自然が相手だからこそ、正解がなく面白くなって感じます。日々の気温や雨量などは、毎年違うためデータで合わせていくことは難しく悩むこ



ハウスでトマトの手入れをする天野さん

「今後の展望について。」

人も集まる農園にしていきたいですね。若い人と一緒に農業をやってみたいですね。「つるやファーム」として会社が後押ししながら、自立的に生産をしてみたいです。新しいアイデアは皆で出し

「最後に、就農を考えている人にメッセージをお願いします。」

就農をするなら一日でも早く取り掛かるべきです。時間は一刻と過ぎていきます。一日でも早く種を蒔いて、自然に慣れていくことが大事です。自分は農業の知識が全くないところから始めましたが、最初は独学で勉強したり周りの農家さんに聞いたりで、3、4年目は細かく栽培の要領を覚えてもらいながら、今に至るようになりました。やればできます。

取材を終えて

学生ライター／広島大学4年

渡邊 夏木さん



農業を通じて人とのつながりが生まれ、日々、自然と向き合い進んでいる姿に心を打たれました。

また、農業の未来についても考えていることが聞けてとても良い体験になりました。農業はまず始めてみるのが大切。挑戦してみたら課題を解決していきながら、天野さんのように農業に魅力を感じる人たちが増えていったらいいなと思いました。